

ひかりのこ

年度末園便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2022年3月11日

「おにいさんパンツ」

先日「おにいさんパンツ」にまつわる二つの出来事がありました。おにいさんパンツは、オムツを卒業した布のパンツのことで

す。年少の男の子。お預かり保育でお外に行くときに、見かけた私を呼び止めて、「ぼくねえ、おにいさんパンツにしたんだ。おにいさんパンツで、お外に行くんだよ！」と言って、わざわざジャンパーのジッパーを下げて、ズボンまで下げておにいさんパンツを私に見せてくれました。とってもほこらしげに。

また、別の年少の男の子、あるとき廊下で大粒の涙をぽろぽろ流しながら、うわーん、うわーんと泣いています。このお子さんも最近おにいさんパンツにしたばかり。おしっこはトイレで上手にできたのですが、何でもウンチをパンツにしたらしいのです。先生たちは、優しく励ましながら、大急ぎでパンツを変えています。別に誰もその子を責めたり叱ったわけではありません。その子自身が悔しくて残念で泣いているのです。ちょっと前なら、オムツにおしっこやウンチをしてもへっちゃらだったはずなのに。

こんな子どもたちの姿に私はいつも心を動かされます。大きくなるって素晴らしい。赤ちゃんぽかった年少さんが、最近ではひまわりさん（年中さん）になることをとても意識しているのです。年中さんも同じ。もうすぐ私は年長さん、というような、なんだかかっこいい表情です。

その中でも、年長さんの成長は著しい、と感じます。もう小学生になるのだという意識が、子どもたちの行動や表情や言葉にあふれています。誰もが憧れる素敵な姿なのです。

子どもたちの成長を神様に感謝して、その10分の1でもいいから、自分自身も成長したいという、意欲と勇気を子どもたちからもらう3月です。

園長 渡部良子

キリスト教保育

「沖に漕ぎ出しなさい」 ～卒園するみなさんへ～

この聖書の言葉は、昨年、聖ミカエル教会が宣教70周年を迎えた時に感謝礼拝のポスターに使われたものです。夜通し漁をしても魚が獲れず、落ち込んでいた4人の漁師たちにイエス様が近づき、彼らに「沖に漕ぎ出し、漁をなさい」と言ったのです。プロの漁師が努力しても叶わなかったのに、ふらっと現れた人に漁をしろと言われても普通なら相手にされないでしょう。しかし、イエス様の言葉には抗しがたい力があり、言われるままに漁をすると大量の魚が獲れたというのです。

人生には、努力が報われない、頑張っても結果が出ない、自信が持てないなど、落ち込んでしまう時がたくさんあります。そんな時に、イエス様は静かに語りかけてくれます。卒園する皆さんには、イエス様のことを忘れないで欲しいのです。イエス様が伝えたいことは、自分を嫌いにならないで、何度でもやり直して、あなたは愛されているのだから、というメッセージに尽きます。卒園するすずらん組のお友達は、すでにイエス様のことを知っています。いつも沖に漕ぎ出してください。みなさんをこの幼稚園に導いてくれた神さまに感謝します。これからどんな時も、神さまのお恵みがありますように。

チャプレン 下澤 昌

